



発行責任者：ひらま良明後援会  
浜松市中区葵東1-13-1 TEL 053-436-4411

後援会会長 袴田 豪  
発行：平成 26年 10月 16日

## 市民クラブ提出の意見書は見送りに 平成26年第3回浜松市議会定例会報告

日頃のご支援に心から感謝を申し上げます。

さて、浜松市議会本会議が9月8日から10月15日まで開かれ、補正予算や平成25年度決算の審議などを行いました。今回の補正では、新・産業集積エリアにおける企業用地整備に向けた事業費の追加や、交通安全対策、道路・橋梁などの安全・安心対策などに要する経費を追加しました。また、浜松市議会として国へ5件の意見書を提出しましたが、所属会派「市民クラブ」が議案提出した「地方財政の充実・強化を求める意見書」及び、「自動車関係諸税の抜本改革を求める意見書」は、議事運営委員会に於いて委員の賛成が4分の3に満たず見送られました。私たちが抜本改革を求めている自動車関係諸税については、平成27年度税制改正に向けて議論されますが、自動車産業が多く集積する浜松市の産業構造は他の地方団体とは異なり、自動車関係諸税の負担増により自動車産業への影響による税収減や雇用減も懸念されます。また、軽自動車や二輪車は市民の必需品であり、軽自動車税の増税は市民生活にも大きく影響します。これらの点を考慮し負担減を求め引き続き関係各所に働きかけて参りますので、ご支援を宜しく申し上げます。



音楽関係見本市「Hamamatsu Music Messe 2014」にてギターを持った「出世大名康くん」と

浜松市議会議員 平間良明

### 9月補正予算の主要事業

- 企業用地整備(第三都田地区) 6億1,300万円
- 安全・安心対策事業 7億1,310万円
  - ・交通安全対策(市役所前平面横断化、ゾーン30の指定(4地区)に伴う生活道路対策) ほか
  - ・道路橋梁の安全安心対策 ほか
- 情報システム整備(社会保障・税番号制度導入)
- 学校施設整備(中部中学校区小中一貫校整備・浜名中学校移転改築・蛸塚中学校改築ほか)

### 平成25年度浜松市決算の概要

- 会計別決算額(前年度比)
- 全会計・・・5,415億円 (158億円増)
  - 一般会計・・・2,805億円 (100億円増)
  - 特別会計・・・2,007億円 (61億円増)
  - 企業会計・・・602億円 (3億円減)

### 平成25年度決算の特徴

- 市税収入増・・・1,270億円 (25億円増)
  - ・個人市民税 455億円 (8億円増)
  - ・法人市民税 110億円 (5億円増)
  - ・固定資産税 512億円 (6億円増) ※家屋新築増
  - ・市たばこ税 54億円 (5億円増)

### 浜松市は借金を削減しています！

- 総市債残高 5,004億円 (36億円減少)
- ※目標の平成26年度末5,000億円未達成を見込む  
平成18年から7年間で628億円(11.2%)削減

情報発信から情報共有へ！ひらま良明はインターネットで皆さんと情報共有をしています。

ひらま通信ネット版では記事の補足説明などをご覧いただけます。  と検索を！

★[ブログ](#)のメール登録、[フェイスブック](#)のいいね！  
[ツイッター](#)のフォローなどお願いします。

# ひらま良明の「音楽」で浜松を活性化する取り組み

浜松市は「楽器の街」、「音楽の街」として地域の産業振興やシティブロモーションを行っています。

私は、子どもの頃から好きな楽器演奏を通じて、音楽で浜松市を活性化する活動に取り組んでいます。前号では「バイク」で浜松を活性化する取り組みを紹介しましたが、今回は音楽にかかわる活動の一部をご紹介します。

## 浜松市議会議員バンド「G I E E N」(ギーン) 結成



メンバー紹介 左から(敬称略)

- ・神間智博(自民党浜松)・西川公一郎(公明党)
- ・湖東秀隆(創造浜松)・平間良明(市民クラブ)

「音楽の街」浜松を盛り上げるために浜松市議会議員が所属会派を超えてバンドを結成しました。その名も「G I E E N」(ギーン)です。浜松市は音楽の街を名乗るだけあり、浜松市議会にも楽器演奏が出来る議員が多くいます。私の担当はボーカル、ギター、ベースです。市民で作る音楽祭「[やらまいかミュージックフェスティバル in はままつ](#)」の出演のほか、スタッフとしても参加しています。昨年は富士山の世界遺産登録を記念して「ふじさん」をロック調アレンジで演奏しましたが、今年は「[浜松市歌](#)」をロック調で演奏しました。

浜松市歌は市が政令指定都市に移行した平成19年の発表から7年経過しており、市の行事や学校行事などで歌われて認知されつつありますが、市民にはまだまだ定着していないためPRしました。

「浜松市歌」をカラオケに採用出来ないか、神間議員とメーカーにお願いに行きました。実現すれば浜松市のPRにもつながります。

## 音楽交流都市の札幌市を行政視察

[浜松市と札幌市は音楽交流](#)をしています。音楽のまちづくりを進める札幌市の取り組みを調査し、本市の「音楽の都」づくりの参考としました。本市は「ユネスコ創造都市ネットワーク」にアジア初の「音楽分野」で加盟を目指していますが、札幌市は「メディアアーツ分野」で加盟済です。札幌市には音楽文化拠点を要望する署名活動などの市民運動により事業費191億円をかけ[札幌コンサートホール「k i t a r a \(キタラ\)」](#)をつくりました。本市も音楽文化拠点「はまホール」の存続について議会で議論があり、署名活動など実施されました。音楽の都として文化拠点をどうすべきか検討中です。偶然ですがJR浜松駅北口広場も「キタラ」という名称であり、プロムナードコンサートなど市民が音楽に触れられる場所ですが、演奏会が雨天中止になることもあり常設屋根の設置などの施設充実に向けた提言を関係各所にしていきます。

## 第1回上島町芸能祭に出演しました



居住地域の自治会主催のイベントでハーモニカとアコースティックギターで「浜松市歌」をPR。二曲目は私の故郷北海道を代表する歌手、松山千春さんの「長い夜」を演奏しました。

## 「音楽の都」浜松の取り組みについて提言します

ヤマハ、カワイ、ローランドなど世界的に有名な楽器メーカーが立地する浜松市。部品工場や、[楽器を製作、修理する職人も多く在住](#)します。歌唱や楽器演奏は指先や脳など体を刺激し、認知症や介護予防に有効で、ストレスも解消でき、更なる健康寿命の延伸につながると思います。

超高齢化社会を迎え、市の財政を圧迫する扶助費抑制に向け浜松市は予防策を実施していますが、私は音楽を活用した「音楽の都」浜松らしい施策を提言します。この提言は楽器産業や観光産業の活性化にもつながると考えます。

## 写真で見る「ひらま良明」活動記録 7月～9月(一部抜粋)

7月 [海外行政視察\(タイ・バンコク\)](#)



8月 [バイクのふるさと浜松にて](#)



9月 [列島クリーンキャンペーンにて](#)

